



梅雨も明けて、真夏のシーズン到来と共に、そばの種播きの時期となりました。今までの長雨のため例年より、一週間から十日の遅れとなり、今、ネジを巻きながら急ピッチで進めているところです。今年は、どんな「そば」できるかと期待を込めて、作業に汗を流していると言うのが近況です。話は変わりますが、秋田県内での新型コロナウイルス感染の急拡大に驚きを隠せない!!さらには、恐怖すら感じると言っているのが本当の所です。感染者の増減について原因が何か分からないことも、拍車をかける一因となっているのでは・・・この様な状況下で「交流サロン」の開催に不安を感じるのは、私だけなのだろうか・・・大仙市保健所管内で、毎日、百人前後のり患者・・・サロンの継続、悩ましいところです。またまた話は変わりますが、春の天候不順で、桃やリンゴのときは如何なものかと心配していましたが、中間報告をいただきました。今、順調に生育しているとのこと、秋が楽しみです。台風が来ないように神頼みしなくては、と思っています。暗いニュースが多い中、せめてもの楽しみに期待しています。

マイフォト 「仙北平野の夜明」 令和4年7月12日撮影



マイフォト一言

梅雨時に、晴れた一日、例のごとく、四時に目覚めて奥羽山系を見渡した時の一枚です。目覚め始めた仙北平野、茜色に染まった空のなかに、秋田駒ヶ岳の雄姿、まだ目覚めない家々、そんな景色を切り取ってみました。四時十九分、見慣れた景色も、その時々で表情が変わり別世界が広がることをあらためて感じたところです。猛暑続きの毎日、異常な感染の拡大を知らせる新聞紙上、こんな風景の中で生きていけるのは、幸せなことなんだとつくづく感じます。

8月の交流サロン
8月28日(日)
 皆様には、大変申し訳ございませんが、昨今の急激な新型コロナウイルスの感染拡大を憂慮しまして、8月の「交流サロン」は、協議の結果休止することといたしました。
 これからも、ご協力のほど宜しくお願い致します。



谷さんの見本と佐藤多喜子さんの作品

先日、「グループ風」代表の谷先生より「石」に彩色を施す「であいの花」の制作依頼がありました。依頼がりました。作例を掲載しました。



交流サロンの「マカワ



普通の石(上) 色彩を施した作品(下)



今年の展示に予定している兜(四季を設定)

今月の「交流サロン」から!!

新型コロナウイルスの急激な感染拡大を考慮して、急遽!!午前中の活動としました。残念ながら、皆さん楽しみの昼食は中止、たことと、コロナの感染状況、さらに増えるのではとの不安感のせいか、いまいち元気がない(マスクのせいも)「サロン」となりました。その中で明るい話題を一つ、上段に取り上げました、「であいの花」つくりの事です。河原にある石に、色付けをして作る「であいの花」、早速、会員である佐藤さんが作ったそう皆さんに披露しました。あまりの綺麗さに感動するとともに、シベルの高さこそが絵手紙の先生と賞賛の声があがりました。私は、こんなにキレイにできるのか、不安に・・・

東日本大震災による避難者を
 支援する秋田県南連絡協議会
 発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美
 連絡先 〇九〇-九六七〇-二八五二